

内閣府本府政策評価有識者懇談会（第52回）議事要旨

1. 日 時 令和6年6月24日（月）10:00～11:49

2. 場 所 中央合同庁舎第8号館5階共用B会議室

3. 出席者

（委員）

座長	白石 小百合	横浜市立大学国際商学部教授
	伊藤 正次	東京都立大学法学部、大学院法学政治学研究科教授
	荒見 玲子	名古屋大学大学院法学研究科教授
	佐藤 徹	高崎経済大学地域政策学部、大学院地域政策研究科教授
	横田 響子	株式会社コラボ 代表取締役

（内閣府）

	岡本 直樹	内閣府大臣官房政策立案総括審議官
	盛谷 幸一郎	内閣府大臣官房政策評価広報課長
	入野 史也	内閣府大臣官房政策評価広報課課長補佐

4. 議題

- （1）令和5年度実施施策に係る政策評価書（経済財政政策、高齢社会対策、北方対策）（案）について
- （2）令和2年度から令和5年度までの実施施策に係る政策評価書（宇宙政策）（案）について
- （3）内閣府本府政策評価基本計画（第7次）の改正（案）について

5. 議事要旨

（1）議題1及び2

令和5年度実施施策に係る政策評価書に関し、各部局（政策統括官（経済財政運営担当）、政策統括官（経済社会システム担当）、政策統括官（経済財政分析担当）、政策統括官（共生・共助担当）、北方対策本部）からヒアリングを実施。また、令和2年度から令和5年度までの実施施策に係る政策評価書に関し、宇宙開発戦略推進事務局からヒアリングを実施。委員からの主な意見やコメントは以下のとおり。

《経済財政に関する施策の推進》

- NPO 法人に関する実態調査から、特に公益活動の活性化に関してどのようなことが分かったのか、どういった問題が見えてきたのか。
- 測定指標 2、測定指標 5～7 について「集計中」ということだが、集計をタイムリーに行うことができるよう、今後システム化などで改善を図っていくことは考えられるか。

《高齢社会対策大綱の作成・推進》

- 測定指標 1（社会的な活動等を行っている高齢者の割合（厚生労働省「国民健康・栄養調査」））と参考指標 1（①社会的な活動等を行っている高齢者の割合（内閣府「高齢社会対策総合調査」））の定義は変わらないのか。
- アクティビティは調査及び啓発であることから、初期のアウトプットは、高齢者の行動変容や社会参加などだけでなく、高齢者に係る問題、孤立などへの社会的な認知度があっても良いのではないか。

《北方領土問題解決促進のための施策の推進》

- ホームページでの情報発信について、ライトな関心層に当たるため、AI を活用して質問に回答する等、非常に工夫されていると感じたが、ライトな関心層からの質問の傾向を把握していくことも必要ではないか。
- 参考指標 7（県民大会等各地の事業への参加者のうち初参加者の人数及び割合）について、この中での若年層の人数や割合は把握しているのか。

《宇宙開発利用に関する施策の推進》

- 測定指標 3（大規模災害時にも、災害情報の配信、被災者情報等の収集を行うシステムの着実な運用）について、どのように進捗していると理解すれば良いか。

（2）議題 3

事務局より資料 4～6 に基づき説明。委員からの意見等はなし。

<文責：内閣府大臣官房政策評価広報課>